

学生チャレンジプロジェクト報告

本プロジェクトも3年目となりました。今年もアイデア溢れる6プロジェクトが選ばれました。メンバー学生は、自ら立てた計画を達成するため、約半年間意欲的に活動してきました。次回も多くの学生のチャレンジを期待しています。

平成25年度学生チャレンジプロジェクト採択一覧

No.	プロジェクト名	部門	代表学生
1	フリースケール・カップ 初岡南チーム	コンテスト参加	電気工学科4年 初田 達彦
2	Project ISON ～ほうき星を探して～	ものづくり	情報工学科2年 寒川 翔太
3	グリーンカーテンの設置と自動給水システムの作製プロジェクト	ものづくり	電気工学科4年 川原 翔太
4	3次元モデル周りの流れの可視化および可視化風洞の試作	コンテスト参加	機械工学科4年 北園 一将
5	Marvellous Vision	ものづくり	電子情報工学専攻1年 矢鋪 知哉
6	RoboRoboDance	ものづくり	電子制御工学科4年 森本 翔太

Project ISON ～ほうき星を探して～…成果報告

情報工学科2年 花高 潤、松本翔太、徳田 義行
物質化学工学科2年 谷口 雄介



プロジェクトメンバー

数十年に一度の大彗星と言われているISON彗星の接近を知り、私達天文好きの学生が集まり観望会を開くことを計画しました。しかし高専生たるもの市販の望遠鏡を使うのでは面白くない!そこで学生チャレンジプロジェクトに応募し、自ら反射望遠鏡を作成することにしました。とは言うものの誰一人その経験を持ち合わせておらず、材料集めから組み上げに

至るまで様々な工夫をこらし、完成にこぎつけることができました。残念ながらISON彗星は蒸発してしまい、代わりの観望会も悪天候により中止となってしまいましたが、はじめは9名だったメンバーも現在では十数人になり、作成した望遠鏡は今後の活動に役立てていきたいと思ひます。

至るまで様々な工夫をこらし、完成にこぎつけることができました。残念ながらISON彗星は蒸発してしまい、代わりの観望会も悪天候により中止となってしまいましたが、はじめは9名だったメンバーも現在では十数人になり、作成した望遠鏡は今後の活動に役立てていきたいと思ひます。



望遠鏡を作成中

産学交流室から

産学交流室長 早川 恭弘

奈良高専産学交流室は、企業からの技術相談、企業との共同研究、受託研究、展示会展など、企業と本校教員との橋渡しを行っています。特に、技術相談では、本校のコーディネータが2名対応しており、年々相談件数が増え、平成24年度は278件となっています。これは、コーディネータが企業と本校教員シーズのマッチングを積極的に行っている成果です。そして、技術相談から共同研究や受託研究となる事例も増えており、本校産学官連携活動は年々活発になっています。また奈良高専は近畿7高専の拠点校に位置づけられており共同企画の立案をしています。この12月6日には「近畿7高専産学官マッチングフェア」と題し先生方のシーズ発表や企業のポスター出展などで交流を図りました。動員実績は158名と多くの方に参加いただきました。

人材育成事業に関しては、平成19年度に採択された「元気なら組み込みシステム技術者の養成」が平成23年度まで実施されました。そして、本事業は平成24年度に自立継続化を行い、技術者・企業グループである「GENETコミュニティ」を立ち上げています。さらに、平成24年度より奈良高専産学交流講座として、「新ベーシックコース ～ゼロから始める組み込みシステム基礎講座～」を年6回開催しています。また、奈良県産業振興総合センターとのIT関連の体験セミナーを共催し、人材育成の一端も担っています。

今後も引き続き産学官連携を推進していきたいと思ひますので、皆様のご理解ご支援を宜しくお願い致します。



「PICAメッセ」に出展



出展した展示会の様子

